

作業日記

秋葉 健太

多少気温が高い日もありましたが、ようやく気候が穏やかになってきたかなと思います。気づけば11月なのであつという間に秋がどこかに行って、冬がすぐそこなのかなと思います。10月に入る前に今くらいの気候だといいなあと正直思いますし、多くの方がそう思うでしょう。

そんな10月。毎週のようにどこかでイベントをやっているなと思えるくらいに、足立区に限らずいろいろなところでイベントをやっていたように見受けられました。その中のいくつかか



ら、ありがたいことに葦の会作業所に花売り出店のお誘いがあったので、葦の会作業所も毎週のように週末はどこかのイベントに参加していました。順に挙げていくと東京拘置所での矯正展(5日)、生涯学習センターでのサークルフェア(12日、13日)、都市農業公園での収穫祭(19日、20日)、伊興中祭り(26日)、くらしフェスタ(26日)、谷在家福祉園でのとんがりぼうしカーニバル(27

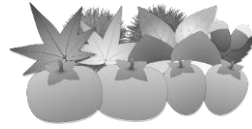
日)と、いつもこんなに参加していたかなと思えるくらいの数。私はそんな中で12日と20日、26日に花売りをし、それぞれ海斗さん、桑原さん、越前屋さんに手伝ってもらいました。その他の日もそうですが、皆さんいつもの出勤よりも朝が早いのに遅刻もせずに来てくれたので助かりました。私と一緒にいった人の話だけでも、大体の場所で普段の花売りよりも売り場と駐車場の距離が離れているので、搬入出が大変ですが積極的に花を運んでくれました。また、花売りの最中も複数のお客さん対応の時には会計なり袋詰めなり一緒にやってくれて助かった場面も多かったので、3人の他の人もこの場を借りてお疲れ様でしたと一言。

そして、11月入ってすぐには葦の会作業所の花セールや秋祭りも行われます(この記事が発行される頃には終わっているでしょうか)。今回は久しぶりにお菓子釣りのゲームを行うことになり、その袋詰めを田沢さんや村田さんらにお願いしました。袋にぬりえやお菓子を詰める作業は久しぶりですね。以前やったときのお菓子の組み合わせは4~5パターンくらいでしたが、お菓子の買い方の都合上パターン数とその倍くらいになって、こちらの指定通りにお菓子を詰めるのも大変だったかと思いますが、丁寧に仕上げてくださいました。

今年もあと2か月となり、秋はすぐに過ぎ去って冬になり、急激な気候の変化で体調を崩す人も多いとニュースでは見受けられましたが、引き続き体調には気を付けて過ごしていきたいと思います。



あしの家だより



【あしの家西新井】

土屋 裕美

10月の始まりは季節外れの夏の終わらない暑さから始まり、秋になった感覚がないまま過ごしていましたが、月末に近付き少し秋を感じられる陽気になってきましたね。毎日、明日の天気予報を見て衣服の準備を考え、当日お見送りまで大丈夫かな？と悩みながらも、メンバーの体調管理に気をつけています。月も半ば過ぎになって、ホームのお隣さんのお家にある金木犀がやっと咲いて、良い香りに癒されています。



来月はいよいよ楽しみにしているハイキングがあり、勝さんは「来月の楽しみはハイキングですね」と、話をされます。明久さんは「雨が降ったら？ハイキングは行けない？」と良く聞かれます。裕さんにも予定を確認すると、「ハイキング行くよー」と楽しみにしているようです。中原さんは、「行きますよ」と伝えると「うん！」と嬉しそうに大きな声で答えてくれました。

和也さんは2日ほど続いた地震に「大丈夫？怖くない？」と。きちんとヘルメットを被り対策万全です。奥さんは新しい部屋着を購入し、嬉しそうに見せてくれました。服部さんは週末自宅に帰った時のことをとてもうれしそうに話をされます。

コロナはだいぶ落ち着いてはきていますが、他のウイルスやインフルエンザにも気をつけながら、メンバーが体調不良のないよう手洗いうがいをしっかり行い、見守りたいと思います。

【あしの家西伊興】

入江 美千代

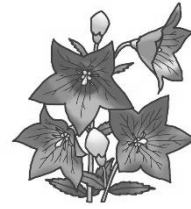
厳しい暑さも過ぎ去り、朝夕は過ごしやすくなりましたが、日中はまだ汗ばむ暑さの日があったり、寒い日があったりと服装選びに悩まされる日々です。秋はイベントも多く、安部さんは矯正展で花売り、松本さんは伊興中学校のお祭りの花売りに行かれました。帰ってくると「いっぱい売れたよ。」教えてくれています。グランファミリアのイベントでブドウ狩りに行った安部さん・田沢さん。沢山のお土産を買って帰ってきました。皆さんでどうぞ！とブドウを頂き、メンバーさん世話人さんで美味しく頂きました。ご馳走様でした。その日、増田さんは西新井大師の防災イベントに参加し、防災グッズを持ち帰り一つ一つ見せながら説明してくれ、喫茶店でコーヒーをこぼしてしまい、周りの皆さんが助けてくださった事など話していました。女性3人はとても楽しかったようで、話が止まりませんでした。(笑) 松本さんは帰省時お手伝いをしたことや作業所での話を、いつも通り身振り手振りで丁寧にゆっくり話されます。花田さんはホームに帰ってきた時に、片手を上げ挨拶をされます。まるで同級生のように笑ってしまいます。乃木坂やあいみょんは卒業したのかな？いつの間にか言わなくなっています。青木さんは、ニヤニヤ、ケラケラ、噴き出して笑っていることが多く、「楽しい？」と聞くと「楽しい」と返答されます。何が楽しいのか？すごく気になります。帰省中は美味しい物を沢山食べているようで「オムライス食べました。美味しかったです。」と必ず食べたものを教えてください。11月も秋祭りやハイキングと楽しいイベントがありますので、体調を崩さないで楽しい日々を過ごしてほしいです。



カルチャー教室 今後の予定

さをり	11月16日・30日	陶芸	11月16日・30日
習字	11月13日・27日	水彩画	11月 8日・22日

奥君日記より (2024年10月)



- 7日 さて今日より畑での仕事、それは久しぶりに、今井さんと植え替えだった。今井さん曰く「来週より作業場の仕事だ。雨が降らないうちに早く帰ろう」と今井さん。
- 8日 折角昨日会ったと思ったが、今日は休みの今井さんと海斗君だ。雨が降ったり止んだりの今日は富山職員との植え替え作業。富山職員は、外の畑で掘り起こしの仕事。大分掘ったが「まだ抜けない草木」だ。
- 9日 今日は木根さんと、一緒に「ポット上げ」をやる。そして、木根さんより、明日の仕事内容もキチンと聞く。解かりやすくして良いと思う。
- 10日 さて今日は好きな植え替えの仕事だが、うまくできなくて朝から職員に注意を受ける。C班は「久保君と幸坂君が居れば良い！」何て言われたらどうする?! 頑張らないと。
- 11日 今日も植え替えとポット上げをやる。それにしても幸坂君は早くて綺麗な植え替えだ。そして外の畑の草木は、久保・桑原・海斗君で抜けた様だ。さすがの3人だと思う。その後は「バラの木」を抜いていた。
- 15日 さて、今日の水彩皆は、「金魚草・柿・ミカン」を描いていた。本日遅れてきた海斗君は大川先生に教えてもらい二人で書いていたのが印象的だ。その後は検尿の内職をやる。ホームの今日は火ノ川さんだ。
- 16日 今日の「いきいき音楽」は石川先生で、小さい秋みつけた~から始まった。エレクトーンが直って良かったと思う。
- 17日 木曜の今日は「エアロビ」が後半で、今日より自転車掃除「すがぬまサイクル」俺・今井・越前屋さん。明日は竹ノ塚方面の自転車掃除。
- 18日 今日は陶芸も無く、自転車掃除が終わったら直ぐに内職、検尿だけど何時ものとは違う仕事。何か色々あるものだと思う。
- 21日 月曜の今日は午前トランポリンだった。そして直ぐに順番が来る。相変わらず宮島君と幸坂君は上手だと思う。ホームは入江さんでハンバーグを食べた。美味しかった。
- 22日 火曜日で本当は、「いきいき水彩」があってC班の桑原・俺は皆と違う絵を書くはずだったが大川先生は休み。俺・桑原君の絵は完成するのか・・・?
- 23日 今日は作本職員とお祭りの準備、ビニール袋に塗り絵とお菓子を入れた。C班の村田さんと俺でやり、久保君と今井さんは針金を曲げていた。最後は作本職員と俺で針金をビニール袋に着けて終わった。折角慣れた仕事なので、明日もやりたいと思っている俺が居た…!?
- 24日 さてホームでは、仁君があまり寝ないで起きていた、会社で大丈夫か心配だ。仕事は午前中ヒヨコ部屋にての仕事。木根・富山職員と幸坂君・荒木君達との仕事。



< 花売り情報 >

11月 7日(木)・19日(火)・27日(水) 竹ノ塚センター

11月13日(水) ビッグ・エー花畑店

11月14日(木) ベルクス南花畑店

11月15日(金) 綾瀬なないろ園 感謝祭

11月16日(土)・17日(日) 興本地域学習センターまつり

11月20日(水) ビッグ・エー南花畑店

11月21日(木) ベルクス古千谷

障がい者アート展に出品します(*^^)v

第43回 ADACHI 広がれ、心繋ぐ

障がい者アート展

作品展
11.29金 ~ 12.5木

会場 足立区役所 中央館1階 時間 午前9時～午後5時

なしモノ・あそびの館 11.30日 午前10時開始
障がい者団体による美術展やダンスなど

鑑賞・体験コーナー 11.30日～12.5日 午前10時開始
福祉施設等で作られたお菓子などの販売や手芸体験など

足立区
TEL: 03-3880-0097 FAX: 03-3880-0084

一昨年まで、カルチャー教室「水彩画」は「足立区展」に出品していましたが、出品要綱に合う大きな作品を描くことが難しく、昨年からは出品していませんでした。しかし、一生懸命描いた作品を多くの方に観ていただきたいという参加者皆の願いから、今年から「障がい者アート展」に出品することにしました。期間中は水彩画と陶芸を出品します。

(習字は区展に出品しました)

是非、皆さんお越しください。

場所：足立区役所1階

日時：11月29日(金)～12月5日(木)
午前9時～午後5時



作業所の「いきいきタイム陶芸」と「カルチャー陶芸教室」で教えていただいている「佐藤 三津江先生」がエッセイを上梓されました。

「だから陶芸はやめられない」陶芸愛にあふれ、ユーモアと分かりやすい文章で、陶芸の経験が無くともイメージしやすくあつという間に読めます。そして、プロセスを大切に、時間をかけて積み上げていくことの大切さと楽しさを学びました。

ぜひご一読ください!!(^_-)-☆

銀鈴叢書 ライフデザインシリーズ

だから陶芸はやめられない。

佐藤 三津江 文・写真・絵

「プロレスを本気ですることの偉さ」。この本を読んで驚かされたこと。この本は読者の興味を引かず、陶芸の奥深さを伝えないと作者の情熱をもとに書かれています。経験が浅い方でもイメージしやすい内容で、あつという間に読み終わってしまいます。今はタイパ(タイム/パフォーマンス)という言葉があるように、効率化が重視される時代ですが、時間があっても丁寧に積み上げていくことの大切さを学びました。(編み文書 40代 男性)

※上記は感想の一部です

陶芸は個人の作業です。騒ぐこともなく、一人で作品作りに取り組む時間は、座禅を組むのと同じように眼を空っぽにすることが出来ます。現代のように変化が激しい社会生活をする中で、人は常に何かを考え、無になる時間はほとんどないと思います。それが陶芸では出来るのです。すごいと思いませんか？

——著者のことば

9 これからの陶芸
8 作品展
7 焼き上がりの楽しみ
6 窯
5 釉薬
4 ものを作る
3 土に触れる
2 陶芸作品が出来るまで
1 二人の先生との出会い

もくじ

四六判・上製・140頁 定価 2,420円
ISBN978-4-86618-168-4 C0095

編集後記

暑い暑いと言っていたと思ったら、あつという間に「立冬」木枯らし1号！体が…気持ちもついていけない。そして「あつという間」と言えば、石破総理が誕生したと思ったら、いきなりの衆議院総選挙。争点は「裏金問題」・・・そうなのか？ 裏金なんてもともとやってはいけない事をやっているのだから、「やりません」でしょ！ 議論して争う事じゃないでしょ！ それよりももっと大事なことがたくさんあるでしょう、能登をはじめとした被災地の復興は、被災された方の命を守る、生活を守る、今の生きづらい社会の中でみんなが安心して安全に心豊かに暮らせる社会を創る為にはどうするのか？ 聞きたかった。でも、これから・・・当選した方たちがどう考え行動されるのか？ 私たち自身がどう考え行動するのか、見続け、考え続けよう。お祭りとおハイキングのお話は次号に、こうご期待(^)/ (池田)